【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第３部門第３区分
【発行日】令和4年4月19日(2022.4.19)

【公開番号】特開2022-48111(P2022-48111A)
【公開日】令和4年3月25日(2022.3.25)
【年通号数】公開公報(特許)2022-053
【出願番号】特願2021-141637(P2021-141637)
【国際特許分類】
Ｃ０８Ｊ　5/00(2006.01)
Ｂ３２Ｂ　3/30(2006.01)
【ＦＩ】
Ｃ０８Ｊ　5/00
Ｂ３２Ｂ　3/30

【手続補正書】
【提出日】令和4年4月11日(2022.4.11)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
基材、装飾層及び艶消層を有し、前記装飾層を前記基材と前記艶消層との間に有し、表面の少なくとも一部に、ＩＳＯ２５１７８－２：２０１２に規定される、Ｓｓｋ（スキューネス）が０．００未満である表面形状を有し、前記表面形状が前記艶消層の表面により形成され、前記艶消層の表面が、不規則なシワにより構成される凹凸形状を有する艶消物品。
【請求項２】
前記表面形状の、ＩＳＯ２５１７８－２：２０１２に規定されるＳｋｕ（クルトシス）が３．００以上である請求項１に記載の艶消物品。
【請求項３】
前記表面形状の、ＪＩＳ　Ｂ０６０１：２０１３に規定される輪郭曲線の横方向のパラメータであるＲｓｍ（曲線要素の平均長さ）が、１００．００μｍ以下である請求項１又は２に記載の艶消物品。
【請求項４】
前記表面形状の、ＪＩＳ　Ｂ０６０１：２０１３に規定される輪郭曲線の山及び高さパラメータであるＲｚ（最大高さ）が、３．００μｍ以上である請求項１～３のいずれか１項に記載の艶消物品。
【請求項５】
前記表面形状の、ＪＩＳ　Ｂ０６０１：２０１３に規定される輪郭曲線の高さ方向のパラメータであるＲａ（算術平均粗さ）が、２．００μｍ以下である請求項１～４のいずれか１項に記載の艶消物品。
【請求項６】
前記不規則なシワが、複数の線条突起部により形成する複数の凸部と、前記複数の線条突起部により囲まれて形成する凹部とにより構成される、請求項１～５のいずれか１項に記載の艶消物品。
【請求項７】
前記艶消層が、樹脂及びシワ形成安定剤を含む樹脂組成物の硬化物により構成され、前記

シワ形成安定剤が前記艶消層の厚さの１００％以下及び３０μｍ以下のいずれか小さい方を上限とする平均粒子径を有し、前記シワ形成安定剤を、前記樹脂１００質量部に対して０．５質量部以上で含むものである請求項１～６のいずれか１項に記載の艶消物品。
【請求項８】
前記基材がシート状である請求１～７のいずれか１項に記載の艶消物品。
【請求項９】
前記艶消層が、前記基材の一方の面の全面にわたって設けられる請求項８に記載の艶消物品。
【請求項１０】
前記表面形状の６０°グロス値が、１０．０以下である請求項１～９のいずれか１項に記載の艶消物品。
【請求項１１】
ＪＩＳ　Ｋ７３６１－１：１９９７に準拠して測定した全光線透過率が、２０％以下である請求項１～１０のいずれか１項に記載の艶消物品。